



台湾屏東県九如郷から訪問団が 来訪されました



▲九如郷訪問団歓迎式の様子

11月15日田から16日田にかけて、台湾屏東県九如郷から14名の訪問団が和水町に来訪されました。

和水町と九如郷は、昨年5月に国際交流促進覚書(MOU)を締結し、今年の8月には、中学生10名の短期派遣を受け入れていただくなど、教育、文化、経済の様々な面で交流を進めているところです。

今回は、「2025山太郎祭」にご招待し、がね釣り大会の体験をはじめ、会場周辺の江田船山古墳の見学を行っていただきました。

今後も様々な分野において交流を促進し、両町民の相互理解と友好関係がさらに深まるよう取り組んでまいります。

また、祭会場では、今回の訪問に合わせて和水町国際交流協会が、台湾ブースを開設し、九如郷産のレモンで作ったレモネードが振る舞われました。

～コート上での熱き戦い～

和水町職場・各種団体ビーチボールバレー大会が開催されました

11月20日田・22日田の2日間、和水町体育館で、令和7年度和水町職場・各種団体ビーチボールバレー大会が開催されました。

この大会は、町内の職場や各種団体などの親睦と交流を図ることを目的に、和水町ビーチボールバレー協会が例年開催しており、総勢93人(16チーム)が参加され、ビーチボールバレーを楽しむと同時に、白熱した試合が繰り広げられました。

○大会結果

＜一般の部＞

優 勝	S A V A
準優勝	会長と呑み仲間
3 位	チーム花簇

＜女性の部＞

優 勝	花みずきB
準優勝	春富保育園
3 位	花みずきA

きくすい荘の指定管理者が 決定しました



▲写真左から反後理事長、石原町長

指定管理者 社会福祉法人ゆうき会

指定期間 令和8年12月4日から令和18年12月3日まで(10年間)

令和7年12月議会において、指定管理者の指定議案が議決され、きくすい荘の指定管理者が決定しました。

きくすい荘は、建替え後の新施設の供用開始と同時に、公設公営から公設民営へ管理運営体制を移行し、社会福祉法人ゆうき会が令和8年12月4日から経営を担う予定です。引き続き、ご愛顧賜りますようお願いします。

なお、きくすい荘に併設しております和水町デイサービスセンターは、令和8年3月31日をもって閉所することとなりました。多くの皆様にご利用いただきましたこと、また、地域の皆様に長年にわたりご厚情を賜りましたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

詳しくは、町のホームページを

ご覧ください。➡



秀島由己男氏が令和7年度熊本県近代文化功労者として顕彰されました



▲秀島由己男氏(2014年撮影)
(写真は熊本市現代美術館提供)



◀左から米田教育長、中山節夫氏、志賀哲太郎氏遺族代表
(写真は熊本県提供)

和水町で創作活動をされていた版画家の秀島由己男氏(1934～2018)が、令和7年度熊本県近代文化功労者に決定したことを受け、11月27日に、県庁知事応接室で顕彰式が行われました。今回は、秀島氏に加え、中山節夫氏(合志市出身:映画監督)、故志賀哲太郎氏(益城町出身:台湾での教育普及に尽力)が顕彰され、秀島氏の遺族代理として米田教育長が出席しました。

副知事及び県教育長並びに県議会副議長からは、「顕彰者の功績は熊本の誇りであり、後進の手本として社会に前向きな変化をもたらすものとして、広く県民に周知する」とのお言葉をいただきました。顕彰者の功績は、後日、熊本県のホームページで公開されますので、ぜひご覧ください(令和8年3月末に公開予定)。

玉名人権擁護委員協議会男女共同参画委員会との意見交換会が開催されました

10月29日田、男女共同参画の推進及び連携を図ることを目的に「玉名人権擁護委員協議会男女共同参画委員会との意見交換会」が開催されました。

当日は、町男女共同参画懇話会委員をはじめ、民生児童委員、町関係職員が参加し、協議会の陶山えつ子委員長から、協議会の取り組み状況や男女共同参画の現状について説明をいただき、その後、活発な意見交換がなされました。

参加者からは、「町の取り組みは?」、「今の若い人たちはよくやっている」、「あらゆる分野で男女共同参画は必要だ」などの意見が出され、有意義な時間となりました。

和水町では、引き続き、男女が互いを人権として尊重し合い、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会になるよう活動していきます。

和水町認定農業者協議会が 社会貢献活動を実施されました



▲各学校長へ贈呈する様子

町の認定を受けた96経営体の農業者で構成される和水町認定農業者協議会が、子どもたちへの支援に繋げる活動として、町内の小中学校(菊水小学校、菊水中学校、三加和小学校、三加和中学校)と町内の保育園及び認定こども園(おおば保育園、神尾保育園、春富保育園、菊水ひまわり園)に対し、農畜産物の寄贈をされました。

協議会から寄贈された農畜産物の総量は、米120kg、みかん740個、卵600個(10個入り×60パック)、LL牛乳等144個(6ケース×24個入り)、かぼちゃ8個で、協議会会長の池田精一郎さん、副会長の池田善幸さんから各代表者へお渡しされました。

この取り組みは、子どもたちに地元の農畜産物を食べてほしいという協議会員の思いから実施され、池田会長は「地元の子供たちに喜んでもらいたい」と述べられました。

また、米田教育長からは「町で生産された食材を給食などで活用させていただきます」と感謝の言葉を贈られました。



▲意見交換会の様子